

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	職場対象のメンタルヘルス対策についてのポータルサイト事業		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始		担当課室	労働衛生課		椎葉 茂樹		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	昨今の職場のメンタルヘルスに関する状況を見ると、精神障害等に係る労災請求・決定件数は増加傾向にある。また、我が国における自殺者数は11年連続で3万人を突破し、このうち約3割が被雇用者・勤め人となっている。一方、事業場における心の健康対策の取り組み状況を見ると、メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業場は約3割にとどまっている。また、取組を行っていない事業場においては、その理由として「取り組み方が分からない」としている。そのため、これら事業者のニーズに対応して、メンタルヘルスに関する様々な情報を提供し、職場のメンタルヘルス対策の促進を行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業の目的を達成するため、厚生労働省のホームページ上に、職場におけるメンタルヘルス対策に係るポータルサイトを設置し、事業者、産業医、衛生管理者等の産業保健スタッフ、労働者やその家族に対して職場のメンタルヘルスに関する様々な情報をインターネットを通じて情報提供する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算		74	65	61	61	
		補正予算						
		繰越し等						
		計		74	65	61	61	
	執行額		67	65				
執行率(%)			91	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (毎年)
	メンタルヘルス・ポータルサイトを利用した結果、有効、有用であった旨の回答の割合を90%以上とする。		成果実績	%	—	96	97	90
			達成度	%	—	107	108	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	メンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」に対する、延べアクセス件数		活動実績 (当初見込み)		—	153,608 (100,000)	444,337 (240,000)	— (400,000)
単位当たりコスト	146(円/件)		算出根拠	(65百万(平成22年度予算額))÷(444,337件(平成22年度アクセス数))				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	事業費	58	58					
	消費税	3	3					
	計	61	61					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	精神障害等に係る労災決定件数は増加傾向にあり、自殺者数は13年連続で3万人を突破し、このうち約3割が被雇用者・勤め人となっている等、職場におけるメンタルヘルス対策は喫緊の課題である。しかしながら、メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業者の割合が3割にとどまっており、その理由としては「取り組み方が分からない」が多いことから、事業者に対しメンタルヘルス対策の取り組み方等の情報提供を行う本事業の優先度は極めて高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	労働者の精神障害等による労災の予防のため、事業者に対し支援を行う事業であり、労働保険特別会計労災勘定から支出していることから受益者との負担関係は妥当である。 なお、極めて専門的な事業であり、仕様書において具体的内容について全て示すことは極めて困難であることから、複数の中から企画書を提出させて、最も優れた者を選定する企画競争により受託者を決定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業のアクセス数は、開設以来向上している。また、インターネットを通じて多くの事業者等に対し情報提供を行っていることから極めて実効性の高い事業である。 また、さらなる支援が必要な場合には、メンタルヘルス対策支援センター事業、ストレス症状を有する者に対する面接指導等に関する研修事業につなぐなど他事業との連携も取れている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	メンタルヘルス対策への取り組み方が分からない事業者などに対し、効率的に質の高い情報提供を行うことが必要であり、そのためには本サイトの周知広報等、積極的に行うとともに、コンテンツの充実を図る必要がある。また、アクセス数の増加により単位当たりのコストの削減につながることを期待される。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	職域対象のメンタルヘルス対策についてのポータルサイト事業については、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
これ以上の縮減は困難			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

職域対象のメンタルヘルス対策についてのポータルサイト事業

厚生労働省
(67百万円(平成21年度精算額))

〔 事業管理、委託者への指導 〕



【企画競争方式】

(財)産業医学振興財団
(67百万円(平成21年度精算額))

〔 職場におけるメンタルヘルス対策に係るポータルサイトを設
置し、産業医、衛生管理者等の産業保健スタッフ、労働者
やその家族に対してインターネットを通じて情報提供する 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(財)産業医学振興財団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	コンテンツ作成費、レンタルサーバー費用、広告宣伝費、SE謝金等	60.4			
管理諸経費	委員会開催費、委員謝金等	3.4			
消費税	消費税	3.2			
計		67.0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)産業医学振興財団	メンタルヘルス対策に係るポータルサイトの運営	集計中	3	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					